

研修のねらい

- 管理監督者の責務と役割を明確に意識し、自治体マネジメント理論を体得できます。
- マネジメント上の問題を解決することが自分の責務と自覚できます。
- 職場でマネジメント上の問題の解決策を見いだすことができます。

マネジメントを担当する管理監督職にとって意思決定は、予期しなかった状況に遭遇したときや政策決定の場面だけではなく、常に直面する基本思考、基本行動です。

一般的問題の意思決定は、4つの区分(重要度と緊急度の高低)ごとの原理原則を理解し、その原則に基づき意思決定することが求められます。

マネジメント上の問題の意思決定は、意思決定の判断基準である使命(ミッション)を明確にし、仕事、職員、組織のどの領域の問題かを見極めて、その解決策を探求しなければなりません。

この研修では、意思決定とは何か、意思決定プロセスなどの意思決定に関する基本的知識を理解するとともに、「M課長と3人の係長」というケーススタディを通じて、一般的問題とマネジメント上の問題の実践的な意思決定手法を体得します。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	1. 戦術的意思決定の実践、その1 ～ 一般的問題の意思決定 ～ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ◇ グループ演習 ◇ 「M課長グループと3人の係長」 </div> (1) 重要度と緊急度 (2) ボックス1～4の留意点	4. 戦略的意思決定の実践 (1) ビジョンとミッション (2) M課長のビジョンとミッション <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ◇ グループ演習 ◇ 「自職場のミッション」 </div>
午後	2. 意思決定とマネジメント (1) 意思決定とは (2) 一般的な問題とマネジメント上の問題 (3) マネジメントとは (4) 管理監督者の責務と役割 3. 自治体は自治体らしく改革する (1) 民間企業と地方自治体のマネジメント (2) 戦略的意思決定の必要性	5. 戦術的意思決定の実践、その2 ～ マネジメント上の問題の意思決定 ～ (1) M課長の事業のマネジメント (2) M課長の職員のマネジメント (3) M課長の組織のマネジメント <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ◇ グループ演習 ◇ 「自職場のマネジメント上の問題」 </div> 6. まとめ